三里地区地域安全推進協議会【高知港海岸（高知県高知市）】

国土交通省

「三里地区地域安全推進協議会」は、地域安全に関係のある諸機関、団体と連携を強化し、地域の安全対策を効果的に推進し、もって地域安全意識の普及高揚等を図ることを目的とした団体で、長年の高知港海岸（種崎海水浴場）における清掃活動の取り組みが評価され、海岸協力団体に指定されました。

指定後も、地域住民や海岸管理者と協力し、継続的に活動に取り組んでいます。

＜海岸協力団体の概要＞

○団体名：三里地区地域安全推進協議会

○所在地：高知県高知市

○活動海岸名：高知港海岸

＜海岸協力団体の主な活動＞

高知港海岸（種崎海水浴場）の清掃活動

・平成9年7月から実施　（22年間）

・毎年７月に実施　（地域住民を含め、約300名以上が参加）

＜指定にあたっての団体からのコメント＞

・毎年20以上の企業、団体に協力頂き、300人以上の参加者がある活動であり、地元の人たちで続けているのが大切。

・高知港海岸の種崎海水浴場をより多くの方々に安全に利用して頂けるよう、今後も貢献していく。

海岸清掃活動

活動内容が新聞で取り上げられました！

ごみを集める参加者ら（高知市の種崎海水浴場で）

種崎海水浴場で住民ら一斉清掃

19日海開き

海水浴シーズンを前に、高知市種崎の種崎海水浴場で5日、地域住民らが海岸の一斉清掃をした。約1時間で2ントラック数台分のごみが集まった。

三里地区地域安全推進協議会（平田文彦会長）の主催で毎年行い、今回で41回目。高知東署の三谷仁志署長が「地域の人が集まって清掃すると、つながりが生まれて犯罪や非行の防止にもなる」とあいさつした。

住民をはじめ、スポーツ少年団のメンバーや高知クーパ・ダイビング安全策協議会の会員ら計約[illegible]0人が、砂浜に落ちた[illegible]の包み紙や流木、海底[illegible]った空き缶などを拾い[illegible]た。

同協議会員の高知市[illegible]東町、宮崎勝年さん（[illegible]「浦戸湾に注ぐ川の清[illegible]するようになったこの[illegible]で、ごみもだいぶん減っ[illegible]と振り返り、平田会長は[illegible]日の海開きをすがすが[illegible]気分で迎えられる」と[illegible]た。

よく泳ぎに来るという同市立十津小6年竹崎太賀君（11）は「いつもごみがいっぱいあるけど、これで気持ちよく泳げそう」と笑顔を見せた。

H27.7.6読売新聞（高知版）

指定証交付式